

開講年次・時期	2年後期	授業回数	8回	時間数	15時間	必修・選択	必修	授業形態	講義	単位数	1単位
---------	------	------	----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NK220	科目名	教育制度論	担当者名	宮 崎 秀 一
授業の概要	日本の教育制度の基本を学びし、その問題点について考えます				
科目の到達目標	①現在の教育制度の現状と課題を様々なデータや論説の分析を通して理解できるようになる。 ②今後の日本の教育制度あり方について自分なりの意見をもてるようになる。				
DPの観点	②表現力(20)、⑦思考力(30)、⑨主体性(30)、⑩問題解決力(20)				
授業時間外学修 (予習・復習)	教育に関する新聞記事に目を通しニュースに関心をもって視聴して下さい(1週間に最低1時間程度)。				
フィードバックの方法	毎回の小レポートの概評および特徴的記述について次回授業でコメントします。				
単位認定の要件	毎回の授業時に作成・提出する小レポートによる平常評価と期末テストとの総合成績で認定します。				
評価の方法・割合 (%)	小レポート(50%) + 期末テスト(50%)				
履修上の注意事項	1単位(8回)の授業なので、欠席3回で単位認定資格を失います。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			教育の本質と教育制度—子どもの個性・自発性・主体性	②⑦⑨⑩	小レポート
2			学校教育の特性と子どもの権利—集団性・専門性・中立性	②⑦⑨⑩	小レポート
3			学校の歴史と現状—国家と市民、人材輩出と人格完成	②⑦⑨⑩	小レポート
4			義務教育と教育機会の均等—学習権保障と教育格差	②⑦⑨⑩	小レポート
5			困難を抱える子どもと学校①—不登校・いじめ	②⑦⑨⑩	小レポート
6			困難を抱える子どもと学校②—非行・児童虐待	②⑦⑨⑩	小レポート
7			学校の組織と運営—地域との連携、開かれた学校	②⑦⑨⑩	小レポート
8			日本のあるべき学校・教育制度 (期末テストを含む)	②⑦⑨⑩	期末テスト
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
期末試験			8回目で行います		

使用テキスト	宮崎ほか著 『資料で考える 子ども・学校・教育』(三訂版) 学術図書出版社 2022年
参考文献 参考URL	文部科学省ホームページ
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--